

いきごみ通信



江戸川区生ごみ堆肥化実践クラブ
〒132-0033 江戸川区東小松川 3-35-13-204
電話・FAX 03-3655-1387
ホームページ: <http://www.ikigomi.jp/>

【 3.11 大震災と原発事故を機に生活を変える 】

代表世話人 佐藤正兵

東日本大震災と原発事故は日本の社会や政治・経済のありようを一変しました。私たちの生活の仕方も根本的に見直すことが求められていると思います。

福島の人々は、東京・首都圏の人々の電気を賄うための原発の事故で故郷を追われました。半分以上がエアコンや夜間に湯を沸かす電力などのために消費される電気だそうです。原発無しでも充分賄えるという試算も出されていますが、これを機にエネルギーを大量消費するシステムから、省エネ・自然エネルギー利用の自然共生型社会への転換が求められています。私たちは生ごみ堆肥作りを通じて太陽の恵みを生かす循環型社会を目指していますが、さらに地球に優しい社会生活への転換を地域に広めて生きたいと思っています。



手作りの堆肥枠

〜いのち〜

(菜園日誌より)

初夏の陽ざしと生ごみ堆肥のパワーをたっぷりもらって、玉ねぎは元気に出番を待っています。今日はブルコリーの最後の収穫の日です。「ありがとう」の気持ちを込めて、できるだけ茎を長く採り、残った茎と葉は、次に来る「いのち」のために土に戻されました。命を全う出来なかった野菜たちの事を考えながら、もう繊維になりかかった茎までしっかりと、いただきました。

「初めて耳にする、「シーベルト」とかの数値に翻弄された、野菜と農業者の方と来年の作付けも決まらないう畑の土と……。心が痛みます。家畜を残しては行けないと、止まり続け、活かされる事のない牛乳を搾る畜産業の方、誰もいなくなった道を、やせた牛が行く……。あの日、こわれた涙腺が又ゆるむ。命に重い軽い小さい大きいはずなのに、存在する命の軽さ、人間の勝手さに抗する術を持たないあの「生きるもの

たち」の眼を正面から見る事の出来る者がいるだろうか……。ただ、目を閉じて俯くだけ。たった、一本残った松。「そのいのち」に人は、それぞれの惟いを託す。

震災の直後、津波の跡から、お醤油を造っていた樽を見つけ、そこから微生物を集めている方たち。蘇えれば「伝来の味が再生できる」のだと……。極小の生物の「いのち」に潜む量り知れない力。仲間が増えて醤油会社の方たちに、笑顔が戻ったのかしら……。どなたか、『その後』をご存知の方いらっしゃいますか？

遠くから祈ることしか出来ない……：自らに、なにができるかを問いたがら長く、祈りつづけたい。



長谷川

2011 春の講習会



第1回講習会

生ごみリサイクル春期講習会（3回コース）が4月18日タワーホール船堀（参加32名）4月28日小松川区民館（参加23名）でスタートしました。東日本大震災から1か月あまり、復興の先行きも見えず心が晴れない春ですが、講習会には大勢ご参加下さいました。

堆肥作りの実演では、たくさんの質問が出され、熱心にメモを取る姿も見られ、今日からでも始めるという意気込みが感じられる第1回講習会でした。



タワーホール船堀

第2回講習会

講習会の前半はジッパー付きポリ袋を使った堆肥作りの実演、後半はグループに分かれて分科会を行いました。分科会では参加者に持参していただいた熟成中の堆肥を見ながら臭いや水分量、こなれ具合等について意見を出し合い、問題があれば解決法についても話し合いました。この季節は気温・湿度とも堆肥作りを始めるのに適していることもあり、ほとんどの方は順調に堆肥化が進んでいました。第1回講習会で微生物いっぱいの種堆肥を差し上げていることも、順調な堆肥化を助けているものと思います。

分科会 Q&A

Q いつになったら堆肥として使えますか？

A 6ヶ月くらい経ってから、匂いがなくなり、カビも生えず、色が黒くなってからです。完熟しているかどうか分からない場合は、根元から少し離してマルチングして下さい

Q 魚の頭は入れても大丈夫？

A そのまま入れるのではなく半分に切って、ぼかし又は米ぬかを多めにまぶして発泡箱やコンポスト容器の中心部に入れると臭いもなく分解します。大きな魚の場合は火を通してから堆肥化すると安心です。

Q 1か月で4箱も出来て、置き場所もなく困っている。

A 堆肥化が進むと嵩が減るので、箱が際限もなく増えていくことはありません。1~2か月たった中熟堆肥を、生ごみにかける土として堆肥作りに使うと濃縮堆ができます。また、堆肥を増やさないでゴミ箱又はバケツ1個とダンボール箱1個だけで循環させる方法もあります。

春の講習会第3回終了

8月23日（小松川区民館）25日（タワーホール船堀）で、春の講習会第3回が終了しました。第3回目は、腐葉土を使った堆肥作り・ミミズ箱方式・堆肥枠方式を紹介しました。確かに関心は高まっていると感じるのですが、如何したら続けてもらえるのかが、今後の課題だと思います。本当に生ごみ堆肥作りは植物を育てたい者にとっては、とても幸せを感じます。それを伝えることは出来ていると思いますが、植物にも地球にもやさしく、如いては私達の体に還ってこることも伝えていきたい。

『企画力・組織力を強化するために-講座 2』 実施報告

4月22日（金）にかねてから要請のあった江戸川総合人生大学での講座の講師を務めさせていただきました。

この大学は江戸川区が、地域でのボランティア活動やまちの活性化の方法を「座学」と「実学」を通して2年間で学び、実践に生かそうという理念で2004年に設立されました。

今回の受講生は「江戸川まちづくり学科」6期生22名が対象でした。他には「国際コミュニティ学科」「子ども支援学科」「介護・福祉支援学科」など1学年100名ほどが学んでいます。

10時からの講義は、江戸川区生ごみ堆肥化実践クラブの「発足のきっかけ」→「設立」→「2010年度の活動」「今後」について映像を交えながら佐藤代表から40分近くの説明をしました。次いで中村美里子さんから「もったいないの気持ち」で取組んだ様々の実践が区長賞受賞へつながったことを、映像を使いながら10分ほど話をしてもらいました。学生の皆さんは「私もできるかもしれない。いや、やらなくてはいけない」という思いでうなずきながら聞き入っていました。

10分間の休憩をはさみ「堆肥作り」を基礎編のテキストを使い疋田さんと中村さんの講師でスタートしましたが、学生さんはお二人を囲むように「何が始まるの？」と言う顔でしたが、学生どうしお互いがこんなマジな顔を見たことないよ、と言う35分でした。質疑タイム15分はハチの巣をつついたような状態で、私たちが答えると言うよりは学生さんの「討論の場」に化しました。

さらに「参加」→「参集」→「参画」という「3つの参」ということを学生さんがしっかりと実践していたことです。

私たちのゴミ減量、堆肥化の活動は決して間違っていなかったこと、そして皆さんの力でもっともっと広めていかなければならないとの思いを強くしました。（島田）



区長賞に輝いた取り組みを報告

当日の感想が人生大学事務局から送られてきましたので紹介します。

- 食物を無駄にしないことが大切（男性）。
- やってみようかなと思いました（女性）。
- 生ごみ利用の堆肥作り早速実行したくなりました（女性）。
- 実践クラブの活動について実演を交えての報告。すごく参考になった（男性）。
- 改めて生ごみの威力を感じた（男性）。
- ごみ減量化、家庭での堆肥作り早速実行します（女性）。



生ごみ堆肥作り実演の様子

「もったいない」の気持ちが

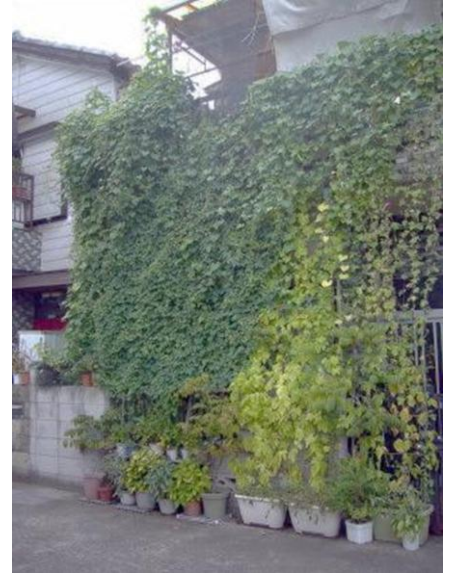
区長賞受賞

中村美里子さんの取り組みを紹介します

今から10年ほど前平成12年のある日、ひよんなことがきっかけで生ごみ堆肥にするための「密閉容器バケツ」に出会いました。生ごみから堆肥が出来て、大好きな緑を育てられるなんて、なんて素敵なことでしょうか。私は、すぐに自分流で堆肥づくりを始めました。そして「ゴミを出さない」ことが私のモットーになったのです。その後、江戸川区の「リサイクル実践モニター」や「リサイクルリーダー講習」を受けて堆肥づくりのノウハウを学び、現在の「生ごみ堆肥化実践クラブ」の立ち上げにも参加しました。私の中の「もったいない」の心は、ますます燃え上っていきました。同時に多くの人に広める喜びと、広がる楽しさを知ったのです。生ごみからは、とてもよい土が出来るので今では野菜も自前です。今年はチンゲンサイとダイコンを作っておいしくいただきました。見てください！畑ではなくてプランターや米の袋でこんなに立派に育つんですよ！堆肥のパワーを使って緑のカーテンにも取り組んでいます。



米袋で育つダイコン



区長賞を受賞した緑のカーテン

昨年は、朝顔の花のカーテンが出来ました。緑のカーテンモニターではゴーヤを育てました。ゴーヤはおいしくいただけます。会場のみなさんも、ぜひ今年から一緒にやりましょう。夏は本当に涼しく過ごせます。昨年の夏だってクーラーを使いませんでした。

こうした取り組みには、記録を取ったりデータを残すようにしています。堆肥づくりの記録は、より良い土作りに、役立てています。他には節水にも取り組んでいます。お風呂の残り水を洗濯やトイレに利用してみたら、何と水道料金は1年で2万1千円も減りました。小さな取り組みですが「もったいない」の心が、地球も家庭も守っているのですね！！

これからは雨水の利用や、保温調理などにも積極的に取り組んでいきます。

もったいない運動えどがわ区民大会での発表から・・・ 一部割愛

第6葛西小 実験菜園

あれから9か月、6月1日玉ねぎも最後の収穫です。梅雨前にすべて収穫を終えたいところ、例年になく早い5月末の梅雨入りで心配しました。でも見てください。本当によく育ちました。小ぶりの物もありますが、完全無農薬で有機肥料だけの玉ねぎのお味は格別です。畑での堆肥作り関心のある方はどうぞご参加ください。



ねぎとブロッコリーの植え付けをしました。苗は会員の提供で、自宅苗床で育てたものでした。



ねぎとブロッコリーの植え付けをしました。苗は会員の提供で、自宅苗床で育てたものでした。

11.月17.日に、玉ねぎとブロッコリーの植え付けをしました。苗は会員の提供で、自宅苗床で育てたものでした。

昨年の9月から土を休ませて学校給食の生ごみや菜園周辺の草・落ち葉などを使って堆肥作りをしてきました。